

Land # 1215

自昭和二十年二月一日
至昭和二十年二月二十八日

陣中日誌

58986

RS 78370
Cincpac-Cincpoa
P-15383
MIRAPOR New 46

22469誌

Class "B"
Batch No. 186
Glen #

CONFIDENTIAL

獨立速射砲第二十二大隊第二中隊

二月一日

晴

我如古

〇八〇〇陣地構築作業ニ從事ス

〇九〇〇翁長作業隊トシテ古山中尉以下二三名出發ス

〇九〇〇中隊長陣地偵察ヲ實施シ二四〇歸隊ス

〇九〇〇中隊長中隊防禦配備、戰鬥法ニ就テ幹部教育

ヲ實施ス

五 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 高林義雄

日 歩哨 同 一等兵 中村 正

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九五

二月二日

曇

我如古

〇八〇〇陣地構築作業ニ從事ス

〇八〇〇第一分隊長安食軍曹「ヘルニヤ」手術ノタメ

與那原野戰病院ニ入院ス

三 自一九三〇。高田中尉主員ニ對シ對火砲戰鬥法並性能及危

險界」ニ就テ教育ヲ實施ス

四 自二月四日。間遣番勤務員左ノ如シ

週番士官 陸軍曹長 村上五郎

同 下士官 同 伍長 鈴木政雄

同 上等兵 同 上等兵 青藤辰雄

五 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 借瀬平三

同 歩哨 同 一等兵 酒井三郎

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九四

二月三日 一 〇八〇陣地構築作業ニ從事ス

我如古 一 予教育ヲ實施ス

三 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍伍長 森山武男

同 歩哨 同 一等兵 佐藤仁義

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九四

二月四日 一 自〇六五。勅諭事讀式ヲ實施ス

曇

我如古 二 〇八〇陣地構築作業ニ從事ス

三 自一九三〇。村上曹長全員ニ對シ「部隊内務規定」ニ就テ教

命令 四 一四〇〇。速ニニ作命甲第二號 速ニニ作命丙第三號

ヲ受領別綴(第一號)ス

五 本日ノ勤務員左ノ如シ

字加入

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 加藤 富藏
同 步哨 同 一等兵 竹内 直雪

六現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九四

二月五日 〇八。陣地構築作業ニ從事ス
晴ニ 杉本隊泡瀨連絡所分遣、夕上 等兵 篤森正。八三。出發

我如古

三 自一八三。高畑中尉全員ニ對シ「米軍戰鬥法」ニ就テ教育ヲ
至一九四。實施ス

四 本日、勤務員左、如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 藤田 勝雄
同 步哨 同 一等兵 佐藤 昌治

五現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九三

二月六日

雲

自〇六五。鈴木伍長全員ニ對シ「對空射擊要領」ニ就テ教
育ヲ實施ス

我如古 〇八。陣地構築作業ニ從事ス
命令 三四。速ニ三作命丙第四號受領別綴(第三號)又

四 本日、勤務員左、如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 總市 和吉
同 步哨 同 一等兵 吉田 治

五現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九三

二月七日

小雨

自〇八〇。中隊長全員ニ對シ「戰局ト吾人、覺悟並幹部
損傷、場合、處置及戰鬥法」ニ就テ教育ヲ實施ス

我如古

二 本日、勤務員左、如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 管順一

同 歩哨 同 一等兵 奥山吉太郎

三 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九三

二月八日

一 〇六五〇ヨリ詔書奉讀式ヲ實施マ

我如古

二 〇八〇〇障地構築作業ニ從事ス

我如古

三 泡瀬連絡所杉本隊分遣中、蕨森上等兵交代トシテ

古川上等兵〇八三〇出發全一五三〇分遣中、蕨森上等兵

中隊復歸ス

四 〇八三〇川北上等兵以下五名坑木受領、夕々美里村西原

ハ出發シ一七〇〇歸隊ス

五 〇八三〇中隊長斜射側射、運用並射撃練習ニ就テ

我如古

六 本日、勤務員左、如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 吉田 儀

同 歩哨 同 一等兵 大野 一男

七 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九三

二月九日

一 〇八〇〇障地構築作業ニ從事ス

我如古

二 〇八三〇日本軍曹全員ニ對シ「除毒法、携帶及使用方法

我如古

並秘密、保持」ニ就テ教育ヲ實施ス

命

三 一四〇〇左記日命ヲ受領ス

(一) 高橋部隊日々命令

二月九日一四〇〇 西原

一 紀元節拜賀式ハ各宿管地区毎ニ實施スベシ

陸軍

2 免 陸軍伍長 木村 長市

命 同 長谷川 一雄

頭書、通り速ニニ作命丙第七號ニ基ク伐採隊、復

分任官ヲ免命ス(二月五日付)

命 今四 一四〇〇速ニニ作命丙第五號ヲ受領別綴(第四號)ス

五 自二月二日 至二月七日 間 週番勤務員左ノ如シ

週番士官 陸軍中尉 高畑 浩

同 下士官 同 兵長 小田 茂

同 上等兵 同 上等兵 佐藤 三雄

六 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 鶴宮 賢夫

同 歩哨 同 一等兵 沼袋重治郎

七 本日ノ患者狀況左ノ如シ

新患二名(肺結核一 胸膜炎一)

八 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官 九三

二月一日

我如古 自〇六四 至〇七三 藤田兵長 測遠機、各機及性能ニ就テ兵長以上ニ對シ教育ヲ實施ス

ニ〇八〇 離地構築作業ニ從事ス

三〇八〇 上等兵 蕙森 正 肺結核ノタメ 仲間療養所ニ入院ス

四 師團經理部藤原隊分遣ノタメ 一等兵 安野仁一郎 三〇〇 出發ス

命 今五一四〇〇 左記日命ヲ受領ス

一 高橋部隊日々命令

一 明後十二日作業會報實施スルニ付將校全員。九〇〇

本部ニ集メ合ハスベシ

六 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 塚田 正義
歩哨 目 一等兵 加野 輝夫

七 現在人員

將校 三 准士官一 下士官兵九一

二月十一日

我如古

雨

一 紀元ノ佳節ニ當リ進拜式ヲ實施終リテ中隊長「紀元節」ニ就テ訓話ス

二 自ハ八〇〇 高田中尉兵長以上ニ對シ射撃豫習教育ヲ實施ス

三 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 妹尾 金彦

歩哨 目 一等兵 山本 辰雄

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 九〇

二月十二日

我如古

晴

一 〇八〇〇 障地構築作業ニ從事ス

二 〇九〇〇 大隊本部ニ於テ實施シ作業會報ニ將校出席ス

三 自ハ八三〇 中隊長兵長以上ニ對シ「現戰況並築城要領」ニ就テ教育ヲ實施ス

命令 令四一四〇〇 左記日命ヲ受領ス

二月十二日一四〇〇

(一) 高橋部隊日々命令

一 明十三日石部隊兵器部(在首里工業學校)ニ於テ急造爆雷用急造桌火具ノ調整並ニ機能検査、要領等教育實施セラル、ニ付本部各中隊、兵器掛下士官ハ參加スベシ

(1) 時間 二月十三日 自一三三〇 至一六三〇

(2) 携行品 一式桌火管 一式導火炸 九七式導火雷管 小刀、糸等

2 二月十八日十九日軍參謀長ノ陣地視察ニ當リ左ノ通り心得ハシ

日	地	区	時間	行動	豫定	摘	要
二月八日	原	大隊	一三〇〇	八五三高地	八五三高地	八五三高地	八五三高地
二月九日	田村	大隊	一三〇〇	宜野湾東側	宜野湾東側	宜野湾東側	宜野湾東側

3 石部隊參謀長ヨリ不興陣地標識聯去方通牒アリタルニ付各隊ハ曩ニ田村十隊地区内其他ノ地区ニ於テ標識セルモノ内不要ノモノハ二月十五日迄ニ撤收スハシ

五 本日ノ勤務員左ノ如シ
 部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 北山 榮
 歩哨回 一算兵 庄司 辰雄
 六 現在人員
 將校 三 准士官 一 下士官兵 九一

陣中ノ記録

二月十三日 一〇ハ〇〇陣地構築作業ニ従事ス

小 兩 本日ヨリ戦況ノ急迫ニ伴ヒ陣地構築ハ晝間ニ引續キ夜間作業ヲ實施ス

三 自五〇〇中隊長全員ニ對シテ「現戦況並戰鬥間兵一般ノ心得ニ就テ教育ヲ實施ス」

命 令 四 一四〇〇左記日命ヲ受領ス

(一) 高橋部隊日々命令 二月十三日一四〇〇 原

一 陣地構築指導ノタメ第三戰築城隊石井中尉外一名ヲ二月十五日ヨリ二十日迄配屬セラル依テ左記日割ニ依リ各隊ハ指導ヲ受クハシ

但シ給養ハ本部ニ於テ擔任ス
 日割 一隊 二月十七日十八日

五 情報

一 聯合艦隊ノ情報ニ依リ敵機動部隊ハ十一日午後ウルシ

一 手加

二月十四日
曇
我如古

發南西諸島又ハ九州方面ニ向ヒツアルモノノ如シ本行動
ハ新作戦敢行(南西諸島)前提ノ算大ナリ

2 聯合艦隊ノ情報ヨリウルシートノ距離ヲ判断スルニ明朝
アタリ空襲ノ算大ナルニ付各隊ハ對空對海監視ヲ嚴ニセシ
レ度シ

大 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衝兵司令 陸軍兵長 大窪 勇作

目 歩哨 田 一 一等兵 楢垣 重藏

七 現在人員

將校三 准士官一 下士官兵九一

一〇五三〇丙號戰備下令セラル

一〇八〇〇陸地構築作業ニ從事ス

三 情報

陣中日誌用紙

1 諸情報ヲ綜合スルニ南西諸島ハ十五日拂曉敵機動部隊ノ
大規模空襲ヲ以テ始リ十八日以降上陸攻撃ヲ受ケル算大ナ
リト判断セラル

2 明十五日以降敵機動部隊ノ攻撃ノ算大ナルニ付緊急ノ工事
ヲ續行シツツ左記對策ヲ講ビラレ度シ

(1) 防空接護地設

(2) 水際戰鬥ノ為應急配備

(3) 通信(特ニ無線)ノ洞窟ノ設備

(4) 彈藥種練水薪炭等ノ應急準備

(5) 後方諸機關ノ整理

四 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衝兵歩哨掛 陸軍上等兵 川北 敏雄

同 歩哨 同 一等兵 森崎 竹松

五、現在人員

將校 三 准士官一 下士官兵九一

二月十五日
雨

我如古

情況逼迫セルモ全員志氣愈々旺盛ニ。ハ。ヨリ陣地構築
作業ニ從事ス 臨戦態勢ニ入ル

二 軍參謀長要望事項トシテ左記要旨傳達セラル

1 射撃設備、完備

2 陣地、偽裝完全

3 偽陣地、増設

4 予備陣地、完備

5 棲息部、設備

6 陣地ニ糧秣、彈藥、配備

7 肉攻資材、完備

命令

三七〇速ニニ作命甲第三號ヲ受領別添(第五號)マ

四 本日、勤務員三、如シ

部隊衛兵司令、陸軍兵士、藤田弘志

同 歩哨 同 一管兵 田村 定太郎

五 現在人員

將校 三 准士官一 下士官兵七一

二月十六日

層

我如古

坑木輸送ノタメ後藤上等兵以下三名ヲセヨ美里村西原へ出發シ

一、二〇〇 歸隊ス

二 作命甲第三號ニ基キ鶴宮兵長以下三名ハ。旅團司令部、

出發ス

三 〇。八。〇 陣地構築作業ニ從事ス

四 自二月十七日
至三月五日 間 週番勤務員左、如シ

週番士官 陸軍准尉 高橋 儀助

二月十七日	同上	同 伍長	鈴木 政雄
我如古	同上	同上	佐藤 為雄
命	五日ノ勤務員左ノ如シ	部隊衛兵歩哨掛	陸軍上等兵 猪瀬 平三
	一〇八〇陣地構築作業ニ従事ス	同	歩哨 同 一等兵 大坪 定義
	二〇九五ノ内務戰備解除セラル	六現在人員	將校 三 准士官 一 下士官兵 八八
	三 置經理部介道中ノ一等兵横尾清勝ハ三〇中隊復歸ス		
	四 一四〇速ニ三作命内第六號ヲ受領別綴(第六號)マ		
	五 本日ノ勤務員左ノ如シ		
	部隊衛兵司令 陸軍伍長 森山 武男		

六現在人員
同 歩哨 同一算兵 工藤 徳藏
將校 三 准士官 一 下士官兵 八八

二月十八日
我如古
命

一〇八〇陣地構築作業ニ従事ス
一五〇一式機動四七耗砲一門受領ス
一四〇左記日命ヲ受領ス

(一) 高橋部隊日々命令
二月十八日 四〇〇 西 原

一 高日命第三號第四項ニ基ク不用陣地標識撤去場所ヲ明日會報時迄ニ要圖(三五〇〇分)ニヨリ報告スベシ
二 二月二十日ヨリ二日間爆藥戰斗普及教育ヲ實施スルニ付左記ニヨリ專修員ヲ差出スベシ

記
(1) 集合時間及場所 〇八番 本部前

(2) 專修員 各隊兵器掛下士官及同助手一尚各小隊毎

下士官一兵一 (將乘爆藥ヲ取扱ハシムルモノ)

四 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 米原 隆

同 歩哨 同 一等兵 上西 清正

五 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 八九

二月十九日 一〇八〇陣地構築作業ニ從事ス

學

我如古

二 特記事項ナシ

三 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 高林 義雄

同 歩哨 同 一等兵 賀好 貞男

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 八九

二月二十日 一〇八〇陣地構築作業ニ從事ス

學

我如古

一日命第六號ニ基テ爆藥戰鬥普及教育專修員トシテ竹浪伍長以下六名出席ス

命 令 三 一〇八〇陣地構築作業ニ從事ス

四 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 青藤 辰雄

同 歩哨 同 一等兵 中村 正

五 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 八九

二月二十一日 一〇八〇陣地構築作業ニ從事ス

兩

二 昨日ニ引續キ大隊本部ニ於テ實施爆藥戰鬥普及教育ニ

五五

五五

我如古

竹浪伍長以下六名出席ス

三 作命丙第七號ニ基キ一算兵大坪定義師團工兵隊分遣ノタメ

〇九〇〇出發ス

四 自一七四〇中隊長全員ニ對シ「現戰況並軍人ノ嗜」ニ就テ教育ヲ

實施ス

五 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 管 一

同 歩哨 同 一算兵 横溝太三郎

六 現在人員

牌校 三 准士官一 下士官兵八八

二月二十二日 〇八〇〇陣地構築作業ニ從事ス

我如古

二 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵歩哨掛 陸軍上等兵 加藤 富藏

陣中日誌用紙

同 歩哨 同 一算兵 竹内 直登

三 本日ノ患者状況左ノ如シ

新患一名 (右頸部淋菌膿炎)

四 現在人員

牌校 三 准士官一 下士官兵八八

二月二十三日 〇八〇〇陣地構築作業ニ從事ス

我如古

二 去ル十八日交付受ケタル一式機動四七発砲一門返納ス

三 自二月二十四日 間週番勤務員左ノ如シ

週番士官 陸軍曹長 村上 五郎

同 准士官 同 兵長 小田 茂

同 上等兵 同 上等兵 佐藤 為雄

四 本日ノ勤務員左ノ如シ

部隊衛兵司令 陸軍兵長 妹尾 金弥

陸

嘉文

陣中日誌用紙

二月二十四日 我如古 兩		五 現在人員 同 歩哨 同 一 等兵 佐藤 昌治
一 〇八〇〇 陣地構築作業ニ從事ス		將校 三 准士官一 下士官兵 八八
二 本日ノ勤務員左ノ如シ 部隊衛兵 嚙掛 陸軍上等兵 吉田 儀		同 歩哨 同 一 等兵 池田 三郎
三 現在人員		將校 三 准士官一 下士官兵 八八
二月二十五日 我如古 小雨		一 〇八〇〇 陣地構築作業ニ從事ス
二 本日ノ勤務員左ノ如シ 部隊衛兵司令 陸軍兵長 大窪 勇作		

二月二十六日 我如古 晴		三 現在人員 同 歩哨 同 一 等兵 吉田 治
一 午前中兵器被服ノ手入ヲ實施ス		將校 三 准士官一 下士官兵 八八
二 午後環境ノ整理		
三 〇九〇〇 算兵與寺善六ハ胸腹炎疑ニテ本部醫務室ニ入室ス		
四 一四〇〇 左記日命ヲ受領ス (一) 高橋部隊日々命令 二月二十六日一四〇〇		
助手 西本 陸軍上等兵 佐藤 三雄		
頭書ノ通り昭和二十年度現地初生兵掛ヲ命ズ依テ明二十七日又		同 高田 正
迄ニ大隊本部ニ集合スベシ		
宿泊並給養ハ本部擔任トス		

陸

二月二十七日 晴

我如古 命

五	本日ノ勤務員左ノ如シ	
	部隊衛兵歩哨掛	陸軍上等兵 直森 謙二郎
	同	歩哨 同 一等兵 奥山 吉太郎
	大現在人員	
	將校 三	准士官一 下士官兵八七
一	〇八〇〇陣地構築作業ニ從事ス	
二	〇一〇〇翁長陣地構築ヲ完成シ古山中尉以下二三名中隊復歸ス	
三	日命第三九號ニ基キ佐藤上等兵外一名二四〇〇部隊本部ニ出發ス	
四	中隊命令	二月二十七日一六〇〇
	中隊長 免 陸軍上等兵	石川 英男
	同	命 同 佐々木 子之助
	第一小隊長 免 同 一等兵	森田 正三
	同	命 同 小野 千代七

陣中日誌用紙

二月二十八日 晴

五	本日ノ勤務員左ノ如シ	
	部隊衛兵司令 陸軍伍長	森山 武男
	同	歩哨 同 一等兵 市原 義春
	大現在人員	
	將校 三	准士官一 下士官兵八五
一	〇八〇〇陣地構築作業ニ從事ス	
二	本日ノ勤務員左ノ如シ	
	第二小隊長 免 同	松本 啓三
	同	命 同 佐藤 仁美
	彈藥小隊長 免 同 上等兵	佐々木 定美
	同	命 同 一等兵 加野 徳夫
	頭書ノ通り當番勤務ヲ免命ス	
	依テ二十八日夕ヨリ交代服務スベシ	
五	本日ノ勤務員左ノ如シ	

陸

陸

我如古

部隊衛兵步哨掛 陸軍上等兵 北山榮

同 步哨 目 一算兵 大野一男

現在人員

將校三 准士官一 下士官兵八五

別
綴

自第一號
至第七號

速三作命甲第二號

獨立速射砲第二十二大隊命令

二月四日 原

一、大隊石作命甲第二號ニ依ル防衛隨時檢閲ヲ受ケントス

檢要領ハ別紙ニ付トシ

二、各隊長ハ別紙ニ基キ夫々準備スヘシ

下達法

命令受領者ニ達筆記

高橋

巖

速三作命甲第二號別紙 二月四日 四〇〇
防衛隨時檢閲受檢要領

月日時刻	要領	備考
二六	<p>一、本部將校、人員衛兵、前於檢閲場集合。 二、爾後各隊、隊員在準備行機、候。 三、下三區兵、平衛通、服務、但各宿舎長、宿舎前在。 四、檢閲所、服裝、單履、軍裝、略被佩用。</p>	<p>一、大隊本部 二、大隊本部 三、大隊本部</p>
二〇〇〇	<p>一、原大隊八五三高地、防衛戰術、卷二、服裝、軍裝、但、細部、原大隊、依ル。 二、宿舎前在。 三、宿舎前在。</p>	<p>一、大隊本部 二、大隊本部 三、大隊本部</p>
二〇〇〇	<p>一、原大隊八五三高地、防衛戰術、卷二、服裝、軍裝、但、細部、原大隊、依ル。 二、宿舎前在。 三、宿舎前在。</p>	<p>一、大隊本部 二、大隊本部 三、大隊本部</p>
二〇〇〇	<p>一、原大隊八五三高地、防衛戰術、卷二、服裝、軍裝、但、細部、原大隊、依ル。 二、宿舎前在。 三、宿舎前在。</p>	<p>一、大隊本部 二、大隊本部 三、大隊本部</p>

速三作命丙第三號

獨立速射砲第二十二大隊命令

二月四日 四〇〇

- 一、大隊ハ旅團ノ海上輸送強化ニ對シ協力セントス
- 二、各隊ハ別紙ニ分表ニ基キ人員ヲ差出シ二月五日夕迄ニ泊瀬邊路所ニ至ラシメ師團轄重砲隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ
- 三、細部ハ大隊副官指示スヘシ

大隊長 高橋 巖
下道法 口達筆記

速三作命丙第三號 別紙 二月四日 一四〇

備考	第一中隊	第二中隊	第三中隊
備考	第一中隊	第二中隊	第三中隊
備考	第一中隊	第二中隊	第三中隊
備考	第一中隊	第二中隊	第三中隊

速三作命内第四號

獨立速射砲第二二大隊命令

二月六日 原

一、大隊、金武村、派遣シテ、木材採伐隊編成、別表、如ク改ム
二、林中尉、別表、人員ヲ以テ、前任務ヲ續行ス、川瀬曹長、連絡軍ヲ
速ニ中隊ニ復歸スヘシ

大隊長 高橋 巖
下達法 命令受領者ニ口達筆記

以上

編成表

隊	名	下位	兵	車輛及資材
本部	林中尉	—	—	—
第一中隊	—	—	—	—
第二中隊	—	—	—	—
第三中隊	—	—	—	—

速三作命内第五號

獨立速射砲

第二二大隊命令

二月九日 原

一、第一中隊長及第三中隊長ハ、左記人員ヲ製材所要員トシテ、明一〇日
中二師團經理部ニ差出シ、師團經理部長、区隊ヲ優ケムヘシ
二、細部ハ、大隊副官指示スヘシ

記

第一中隊
第二中隊

兵 兵
一 一

成ルハ、製材ニ終驗アルモノ

大隊長 高橋 巖
下達法 要旨電話後、命令受領者ニ口達筆記

連三作命甲第三號

獨立連射砲第二十二大隊命令

於二月五日

一、今後海軍第二砲台ヲ伊祖砲台ト呼稱スル
 二、大隊ハ石六三旅隊命令第一三號ニ基キ伊祖砲台要員ヲ被廢教
 育者ヲ差出サントス

三、各中隊長ハ別紙人員ヲ明二月一六日一〇時步兵第六三旅團司令部
 本部ニ差出シ官脇大尉ノ指示ヲ受ケムヘシ

四、本教育終了ト共ニ右要員ハ旅團直轄トス

五、給養八明二月一六日夕ヨリ旅團司令部ニ於テ受ケムヘシ
 大隊長 高橋 巖

下達法 各隊長ニ要示口達後命令受領者集合シテ口達筆記
 以上

別紙

砲台要員差出區分表

備考	彈藥員	砲員	機關	指揮官	區分	階級	人員	差出中隊	官氏名
1 指揮官以下威ルベク大砲ニ關シ經驗ヲ有スルモノヲヨリ 撰定スルモノトス 2 服裝ハ軍裝トシ個人支給品ハ一切携行スベシ	一等兵	兵長若ハ上等兵	伍長若ハ兵長	上等兵	軍曹若ハ伍長	一	一本部	林 中尉	
						一	第二中隊	木村 伍長	
						一	第三中隊	石出 上等兵	
						一	第一中隊	齋 官 兵長	
						一	第三中隊	小谷 上等兵	
						一	第一中隊	小谷 上等兵	
						一	第二中隊	小谷 上等兵	
						一	第三中隊	小谷 上等兵	

速ニニ作命丙第六號

獨立速射砲第三十二大隊命令

二月七日 原

一 第三中隊川瀨曹長ハ林中尉ト交代シ木材伐隊長トナ
リ伐採任務ヲ續行スベシ

大隊長 高橋 巖

下達法 要目電後命令受領者ニ口達筆記セシム

速ニニ作命丙第七號

獨立速射砲第十二大隊命令

八月二〇日

一、師團ハ普天間——宜野湾道松並木伐採ヲ實施ス大隊ハ前項作

業ニ協力セントス

二、第一、第三中隊長ハ各々兵一名ヲ差出シ明二十一日正午宜野湾國民學

校ニ於テ師團工兵隊長ノ指揮下ニ入ラシムベシ

三、細部ハ副官指示スヘシ

大隊長 高橋 巖

下達法 要旨電話後命令受領者ニ口達筆記セシム

GINCPAO-GINCPOR Item #B-15383
OKINAWA 11 May 1945

Extracts Field Diary 1st Co, 22d Inf AT Bn

From: 1 Feb, 1945 to 28 Feb, 1945

1 Feb at GANIKUASU, OKINAWA

Total personnel

3 off

1 NO

NOO's and men 95

2 Feb From 1830 until 1930; 1st Lt TAKAHATA will carry out a training schedule for all personnel in methods of defense against flamethrowers, their potentialities and their danger zones.

9 Feb Weekly duty officer + Army 1st Lt TAKAHATA Hiroshi

12 Feb. Equipment on hand

Type 1 Ignition tube.

Type 1 Safety fuse

Type 96 Detenator Capt

27 Feb. 1010 O'clock. Having completed preparations for ONAGA-AGA camp site and fortifications, 1st Lt FUNUYAMA and 23 men returned to the Co.

Total Personnel

3 OFF

1 NO

85 EN

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CINCPAC-CINCPAC Item #D-15383
OKINAWA 11 May 1945

Extracoe Field Diary 1st Co, 22d Inf AT Bn

From: 1 Feb, 1945 to 28 Feb, 1945

1 Feb at GANIKUAZU, OKINAWA

Total personnel

3 Off

1 NO

NCO's and men 95

2 Feb From 1830 until 1930; 1st Lt TAKAHATA will carry out a training schedule for all personnel in methods of defense against flamethrowers, their potentialities and their danger zones.

9 Feb Weekly duty officer - Army 1st Lt TAKAHATA Hiroshi

12 Feb. Equipment on hand
Type 1 Ignition tube.
Type 1 Safety fuse
Type 96 Detonator Caps

27 Feb. 1010 O'clock. Having completed preparations for ONAGA-AZA camp site and fortifications, 1st Lt FURUYAMA and 23 men returned to the Co.

Total Personnel

3 Off

1 NO

85 EM

CONFIDENTIAL

Extrac — Field Diary
From ~~February 1~~ ^{1 Feb} 1945 to Feb 1, 1945

Lab. # 1215

Until: February 28, 1945

~~Independent Anti-Tank Battalion - Feb 1945~~

~~1 Feb~~ at CAMBU AZU, KRINAUA

~~(Squad)~~
CAMBU AZU

← ~~Strength~~

7 let personnel
3 off.
1 warrant off.
NCO's and men 95

~~2 Feb~~

CONFIDENTIAL
TAKAHATA

2 Feb. from 1830 until 1930, ~~at~~ ~~with~~

carry out a training exercise for all personnel
in methods ~~for~~ ^{of defense against} flame throwers, their potential
~~regarding anti flame battle~~

and ^{their} danger zones.
~~and danger limits (thereof)~~

~~9 Feb~~
~~9 Feb~~

Weekly duty officers - ^{TAKA HATA} ~~at St. Takamata~~ Hira

~~12 Feb~~
~~12 Feb~~

~~Ch...~~

Support Division table.

Type 1 ...

Type 26 ...

~~17 Feb~~
~~17 Feb~~

7. 1016 Colock: Having ...

ONAGA-AZA ^{and fortifications, and} FURUYAMA
~~Onaga-aza~~

returned to ...

CONFIDENTIAL